

かほだより



放牧の準備はお早めに！



暖くなり山の雪が溶けるといよいよ放牧の季節がやってきます。牛舎から放牧地へスムーズに順応できる牛になるように、放牧に向けた準備を始めましょう。

放牧馴致 ～放牧地の環境に馴らしましょう～

放牧馴致した牛は未馴致の牛よりも呼吸器病や消化器病の発症率が低く、1日増体量も多くなります。また牛小型ピロプラズマ症はストレスがかかると症状が重篤化しやすいため、放牧馴致により牛を健康に放牧させることが重要です。

エサの馴致：稀に生草を食べられない牛がいます🍀

(第一胃微生物が放牧環境の餌に適応するには少なくとも2週間かかります)

- ・入牧2週間前までに、濃厚飼料を徐々に減らし、粗飼料を増給。
- ・2週間前は、できる限り粗飼料のみに。ビタミンE補給でストレス軽減効果。

気象環境への馴致

- ・入牧約1か月前から、できるだけ昼間は放飼し、外気に触れさせる。
- ・2週間前は、運動場(パドック)や庭先で昼夜放飼する。

群飼・電柵など施設への馴致

- ・複数頭で放飼する。ワイヤーに触れると痛いことを学習させる。



予防接種・検査・治療 ～感染症対策・怪我予防も忘れずに～

放牧地の入牧要件は早めに確認し、もれなく実施しましょう。

予防接種：入牧1か月～2週間前までの接種を！

I B R 5種又は6種混合ワクチン接種(妊娠牛に生ワクチンは使えません)
牛クロストリジウム感染症等

各種疾病検査：入牧要件で必要な検査はお早めに！

牛伝染性リンパ腫(EBL)、牛ウイルス性下痢(BVD)、寄生虫検査、
牛小型ピロプラズマ症検査

治療等：健康状態等に異常がある場合は入牧見合わせの検討も！

皮膚病や下痢症の治療、削蹄・除角・去勢等はあらかじめ済ませましょう。

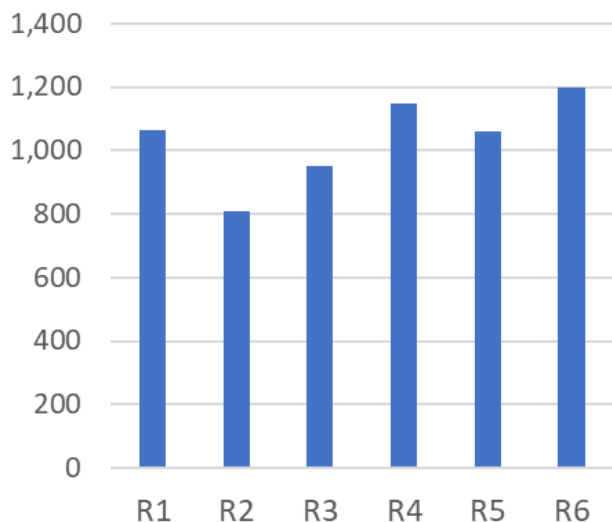


牛のヨーネ病定期検査にご協力をお願いします



ヨーネ病は感染から発症までの潜伏期間が数年と長く、気付かないうちに感染が広がる法定伝染病です。全国的に発生が増加(下図)しており、県内でも令和5年に17頭、令和6年に9頭が摘発されました。本病の定期検査は乳用牛で2年ごと、肉用繁殖牛で4年ごとの実施が義務付けられています。令和7年度のヨーネ病定期検査の対象区域は下表のとおりです。対象農場にはあらかじめ検査日程を通知しますのでご協力をお願いします。

全国の牛のヨーネ病発生頭数



令和7年度 牛のヨーネ病定期検査区域表

市町村		畜種	市町村		畜種
松本市	梓川	搾乳	山形村	繁殖※	
	波田	繁殖※		搾乳	
		搾乳	朝日村	繁殖※	
安曇野市	堀金	搾乳		搾乳	
	三郷	搾乳	松川村	搾乳	
木曾町	三岳	繁殖※			
		搾乳			

※：肉用牛繁殖

日程は別途通知します

NEW

令和7年度 松本家畜保健衛生所の新たな体制がスタート！

所長 青木一郎

韓国では1年10か月ぶりに口蹄疫が発生しました。3月23日現在で14件(総飼養頭数:2,387頭)と発生が継続しており、国内への侵入の可能性が高くなっています。農場立入時の消毒を徹底するなど、飼養衛生管理基準を遵守し、家畜伝染病の防疫対策の維持・強化をお願いします。

保健衛生課	防疫課	病性鑑定課
課長 神戸	課長 袴田	課長 大泉
牛群ドック、乳質改善、慢性疾病対策、繁殖性向上対策等を通じて、生産性向上を支援します。	各種検査や病性鑑定などを通じて、家畜伝染病の発生予防と、衛生管理の向上を支援します。	病性鑑定の精密検査を通じて、疾病の診断、対応等、最新知識を用いて疾病対策を支援します。

伝染病等の異常通報は松本家畜保健衛生所 TEL:0263-47-3223 へ